

【くずまき環境パートナーシップ取材報告】

2030SDGS カードゲーム体験から地球温暖化対策を考える

開催日時：令和2年1月26日(日)14:00~17:00

開催場所：葛巻町総合センター2階 産業経営相談室

参加者：10名 岩手ケーブルテレビジョン株式会社 取材2名

《講座内容》

- ①顕在化し始めた地球温暖化：下天広 浩氏
- ②葛巻における取組について（資料参照）
- ③SDGs17の目標概要・SDGsカード体験
- ④ふりかえり

【下天広浩氏】

①葛巻町新エネルギービジョンについてポイント

- ・「天と地と人の恵みを生かして」
- ・人より牛の多い街（人口7,000人）「ミルクとワインとクリーンエネルギー」
- ・町の魅力、風と太陽

②葛巻町省エネルギービジョン

・風力発電20基、太陽光、糞尿、森林木材（住宅他エネルギー源として利用）老人施設やプールなどに利用している。

③エネルギー自給率70%⇒100% 風力だけで100%となっている。

町内で利用できるかどうか課題。町内ではなく盛岡へのエネルギー源となっている。

【講師自己紹介】

群馬県出身

東京水産大学卒業⇒東京水産大学修士課程修了、有限会社寿食堂入社、株式会社ローソン

平成30年9月葛巻町地域おこし協力隊 着任

【2030SDGS ファシリテーター高野氏講座概要】

●地域と結びつくSDGsの視点の紹介

・葛巻とSDGs

ミルク×SDGs ゴール12作る責任、使う責任 ターゲット4-1

・SDGsの視点の無い企業への融資はしないESG投資について

・バックキャストの大切さも話されました。ゴールを決めて到達するために何をするのかを考える。

●カード体験のための説明を行いいよいよカード体験

体験者の与えられたミッションは【大いなる富】

ゲーム終了時に1200mM以上のお金を得る事。

プロジェクトカードの中には1回のプロジェクトで1,200以上手に入るものがあったが環境がマイナスとなるため使用しなかった。地道な儲け方ではあったが少しの投資で環境も社会も悪

化させずにミッションを達成する方法を選び、前半で達成。余った意思カードや時間のカードは必要な方に上げる方法を行った。1回目はやはり経済が優先された形となったが、2回目は社会や経済も考えながらミッションを行い経済、環境、社会がバランスの良い形で全員がミッションを達成することができた。

グループ内でのふりかえりでは経済優先の社会に歯止めを聞かせるものとして ESG 投資の視点が重要なキーワードになるとの話もされ、架空の出来事ではあるが自身の活動を進めるときに何を守りながら社会、経済も発展させなければならないのかが見えてきた。

【取材後記】

地域協議会、推進員派遣、環境学習講座との連携イベントを開催。

雫石環境パートナーシップに引き続き2回目の開催となった。現在休止中の団体ではあるがセンターからの声掛けにより実現に向けて動いてくださった下天広氏には感謝したい。開催までこぎつけたことは各地域の活動を埋もれさせるのではなく発信する場をつくることとしての意義は大きい。SDGs をコミュニケーションツールとしてうまく活用し、様々な地域でそれぞれの抱える問題提起ができるのではないかと考える。今回高校生2名の参加により次の世代に投げかけることが出来とてもうれしく思う。今後金ケ崎町、奥州市と連携予定。それぞれの地域、立場から SDGs についての理解を深めそれぞれ違った立場の方の活動につなげられる機会となるよう、かかわりを深める努力をしていきます。

